

1955（昭和30）年4月に社会福祉法人「宇和島厚生協会」として認可を受けた愛媛県宇和島市の児童養護施設「みどり寮」の沿革をたどっている。現在の理事長は8代目になる曾根貞義氏（76）だ。2004年まで宇和島市と合併する前の津島町長を2期務めた。06年から厚生協会の理事になり、昨年4月に理事長に就任した。



曾根貞義  
第8代理事長

宇和島厚生協会  
（中）

「宇和島日新聞」（廃刊）の51（昭和26）年から56年までの記事をたどってみると、おお

寮を建てるまでの経緯がどうだったのか。これも資料が残されていない。ただ、宇和島市立図書館に所蔵されている「宇和島日新聞」（廃刊）の51（昭和26）年から56年までの記事をたどってみると、おお

## 市内を転々とした「みどり寮」

「50（昭和25）年に（宇和島駅に近い）天神町の城北中学校近くにささやかな市営孤児収容所

「愛媛県彌生所」の本所が朝日町にあったことに関連した施設だったよう

みどり寮の「30周年記念誌」（85年発行）には、65年当時を振り返った指導員の寄稿文に「風呂の燃料を確保することが困

みどり寮が設けられた」さらに「52年11月、朝日町の乾圃倉庫下に2階建て16室の立派な寮を新築して移転。ふらんこやすべり台も作って、施設を充実、子どもの楽園が出来上がった」という記事があった。乾圃倉庫は「愛媛県彌生所」の本所が朝日町にあったことに関連した施設だったよう

「孤児として収容された11人の子らは、市として十分な待遇が出来ず、人間らしい生活はしていない」という状況もあったことが、宇和島日新聞から読み取ることができ

「52年11月、朝日町の乾圃倉庫下に2階建て16室の立派な寮を新築して移転。ふらんこやすべり台も作って、施設を充実、子どもの楽園が出来上がった」という記事があった。乾圃倉庫は「愛媛県彌生所」の本所が朝日町にあったことに関連した施設だったよう



みどり寮旧舎



みどり寮と灘公園

## 初めは男女一緒、雨漏りも

難で、近所の製材所に頼み込んで、廃材をもらい受けた」や、法人理事の「旧みどり寮の裏側に灘公園が広がっていた。寮は遊び場もなく、子どもたちは公園に集まってくる」との記述を考え合わせる

富岡木材工業の社長は民生児童委員を歴任、75年からみどり寮の理事を務めた富岡保氏だ。法人の第5代理事長を務めた人でもある。愛媛県の林務課職員の技師で退職した後、50年に家業の富岡木材工業に入社、58年から社長を務めた。

73年からみどり寮に勤務したという職員は「木造建ての、昼間でも薄暗い寮舎。雨漏りがして、シミになっている天井。決してきれいで、環境の良い寮とは言えなかった」と振り返るような施設だったようだ。いずれにしてもみどり寮は天神町、朝日町、住吉町と市内を転々としていたこと

富岡保  
第5代理事長

「みどり寮」が建設されたのは77年のことだった。灘公園（0.14畧）に隣接した宇和島市の市有地で、いまも借地契約を結んでいる場所だ。灘公園は市が管理する都市公園として、同じ年に開設されている。

最初のみどり寮開設に建設委員として関わった第4代の谷松理事長は「それまでの施設では収容しきれなくなった。中には男女が一緒で、十把一絡げで寝起きさせていた。それで、『新しい寮を』と言ったことになったが、資金繰りには、ずいぶん苦労した。2000万円を超える金が、よう集まったもんじゃない」と当時のことを振り返った。「当時の2000万円は今の億に相当すると思いますよ」。



富岡保  
第5代理事長

建設には、こんなエピソードがあった。「建設資金は集まった。市有地だから、市と賃貸借契約を結ばなきゃいけないんですが、それがなかなかうまくいかなかった」当時の市長選で、3期目の現職と争ったのが、法人第3代の佐藤徳造理事長の子息。それで市長がなかなか判をつかなかつた。市の承諾をもらえれば、工事が発注できるようにしていたのが、ストップしてしまったというわけだ。結局は佐藤理事長が「私が身を引くけん」と言って退任。4代目の理事長に指名されたのが谷松氏だった。

77（昭和52）年7月に初代寮舎の落成式があった。新寮舎の敷地は632平方畧、建物面積705平方畧で、鉄筋コンクリート2階建てだった。法人の初代理事長、水口節義氏から4代目になる谷松氏まで、いずれも宇和島市会議員を経験した人たちだった。

【澤晴夫】